

日本語表現デザイン塾

日本語表現科目 事例検討会

- ◆日時：2013年9月14・15日
- ◆会場：金沢歌劇座 1階第10会議室

担当：中村博幸（京都文教大学）・大島弥生（東京海洋大学）・山本啓一（九州国際大学）
吉村充功（日本文理大学）・成瀬尚志（長崎外国語大学）・成田秀夫（河合塾）・
堀上晶子（河合塾）・竹内幸哉（河合塾）・井澤恒夫（河合塾）

【これまでの経緯と趣旨】

これまで日本語表現デザイン塾では、初年次教育学会でのワークショップや主催するセミナーを通して、日本語表現科目の授業設計、カリキュラム設計や授業のやり方などに関するノウハウを、私共なりにお伝えして参りました。2010年9月から2013年3月までの間では、全5回の会を開催し、のべ約200名の教職員の方々にご参加いただきました。

今回の授業事例検討会では、それらを踏まえて実際にご指導されている先生方の事例や悩みを共有し、お互いに学び合うとともに、課題を検討して解決策を見出せないかという新たな取り組みに挑戦したいと考えております。そしてこのような取り組みを通し、各大学で孤軍奮闘なさる日本語表現科目を担当する先生方との思いを共有して、参加者全員がお互いに高めあえるような集まりにできればということを目指しております。

【内容】

日本語表現科目の授業設計、カリキュラム設計及びそれらの実施に関する各大学での事例発表をするとともに、それを通してグッド・プラクティスの共有や、改善案の検討を参加者全体で行う。

◆プログラム

1日目：9月14日（土）		2日目：9月15日（日）	
14:00-14:05	趣旨説明	09:00-09:10	本日の趣旨説明
14:05-15:35	事例発表① 3大学からの事例報告	09:10-09:20	前日の振り返り
15:35-15:45	休憩	09:20-10:50	ワールドカフェ方式によるグループワーク
15:45-17:15	事例発表② 3大学からの事例報告	10:50-11:00	休憩
17:15-17:25	休憩	11:00-11:30	事例発表者9名による振り返り
17:25-18:55	事例発表③ 3大学からの事例報告	11:30-11:40	総括
18:55-19:00	1日目のまとめ	11:40-11:45	事務連絡等
		11:45-12:00	（予備）

2日目のグループワークでは、事例発表から浮かび上がった課題の解決策について、グループに分かれてワールドカフェ方式により議論します。想定される課題テーマの例としては、教員に起因する課題としては、設計・手法（ユニットとプロセスの実態）、運営・評価などが考えられ、学ぶ側に起因する課題としては、学力差・レディネス・日本語の問題点、グループワーク・態度・動機付け・苦手意識等が考えられます。